

Rave アーキテクトセキュリティ

e ラーニングコース概要

コース説明 : Rave アーキテクトセキュリティは、アーキテクトモジュール内のプロジェクトおよびグローバルライブラリボリュームに対するユーザのアクセス権とアクションを管理するために使用されます。このコースでは、アーキテクトセキュリティ権限を定義する際および権限をユーザへ割り当てる際のプロセスをご紹介します。

所要時間 ¹: 21 分

モジュール	トピック
はじめに (1 分)	
アーキテクトセキュリティの概要 (4 分)	学習目標
	アーキテクトセキュリティの概要とプロセス
	アーキテクトセキュリティへアクセスする
	まとめ
セキュリティロール (8 分)	学習目標
	ロールの作成とアクションの割当
	Rave ユーザをセキュリティロールに割り当てる
	iMedidata ユーザをセキュリティロールに割り当てる

	練習問題
	まとめ
セキュリティグループ (8分)	学習目標
	セキュリティグループを作成する
	セキュリティグループにプロジェクトとロールを割り当てる
	Rave ユーザをセキュリティグループに割り当てる
	iMedidata ユーザをセキュリティグループに割り当てる
	セキュリティグループ割当とセキュリティロール割当の不整合
	練習問題
	まとめ
次のステップ (1分)	次のアクション
確認テスト	

¹ 記載されている所要時間は目安であり、アクティビティ・シミュレーション・テストの時間は含まれていません。